

航空部品 製造技術競う

中日本航専で技能コンテスト



アルミ板にリベットを打ち込む競技に取り組む学生ら＝関市迫間、中日本航空専門学校

関市迫間の中日本航空専門学校航空生産科の学生による技能コンテストが30日、同校で開かれ、学生たちは航空機部品製造の技術を競った。同科は航空機メーカーや部品工場への就職を目指す技術者を養成している。国産初のジェット旅客機「MRJ」の製造などにより飛行機部品製造の裾野が広がるの見込まれていることから、学生の意識を高めるため同科として初めてコンテストを

行い、学生約140人が参加した。競技は、航空機のボディーに使うアルミ板の穴開けや、その穴にリベットを打ち込む工

程、さらにそこに隙間がないか放射線や超音波で検査する内容。学生たちは、ドリルを使って穴を開けるなどした。

(田島豪人)